



鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和4年11月1日

第7号

「個性豊かな生徒と信頼される先生」～校長面接から～

校 長 服部幸司

先月10月13日(木)から3年生全員165名との校長面接が始まりました。昼休みに2名、放課後に4名、12月中旬まで行う予定です。3年生は、担任の指導の下、「校長面接 自己PRカード」をびっしりと書いて臨んでいます。



面接では、まず志望理由を聞きます。「あなたはたくさんの高校がある中で、現在、本校への進学を希望していますが、なぜ本校を志望したのか、その理由を教えてください。」と各高校の面接官になりきって質問します。生徒の中には、必死に覚えたその学校の校訓や教育方針、進学実績等々を緊張気味に語る者もいれば、自分の将来の夢実現に結びつけて話す者もいます。最近の志望理由に多いのは、実際に高校へ足を運んで感じた直感に近い感覚です。学校説明会や文化祭、部活動体験に行った時の、高校生の様子や雰囲気、加えて、先生方の対応です。どんな質問にも、明るく丁寧に答えてくれる先生方に好印象を持っているようです。

続いて、「あなたの長所を教えてください」と聞きます。いつでも前向きなところ、明るく元気なところ、気遣いのできるどころ…、と様々に語りますが、「その長所にいつ気付いたのですか」と聞くと、小学生の時に親に褒められて気付きました、中学生になってから友達に言われて気付きました…、と人に言われて、そう思っていることがほとんどです。逆に短所については、自分でそう思っていることが多く、また、人見知り、時間の管理ができない、心配性、優柔不断…、自分の悪いところを次々と挙げます。「心配性というのは、先々のことが見えているということだから長所でもあるよね。」と返すと、生徒は、マスク越しにニコッと笑って「ありがとうございます。」と応えます。

さらに、「鴻巣西中学校の良いところは」と聞きます。卒業生達の多くは、豊かな自然に囲まれて、伸び伸びと生活できるどころ、伝統の強歩大会があるところ、凡事徹底ができているところ、と回答していましたが、今年度の3年生の多くは、「生徒一人一人個性があるところ」「先生方が見守ってくれ、信頼できるどころ」と語ります。その語り方も自然で、どちらかというが目立たない生徒が伝えるのです。

最後に、「中学校生活の一番の思い出は」と聞きます。コロナ禍を掻い潜って行った修学旅行と、ほぼ同数なのが、2年生で行ったスキー林間学校です。「1年生で行くのと、2年生で行くのではどう違うと思いますか。」と聞くと、私たちは2年生で行けてよかったと思っています。一人一人の心構えも集団としての成熟度も上がってからのスキー林間学校でした。ホテルの中での規律、集団行動も、スキー講習時の学ぶ姿勢も1年生の時だったら、どうなっていたか分かりません…と話します。

校長面接ほど、生徒一人一人、そして、今の西中学校を知ることのできるものはありません。何名かには、「あなたが本校に入学し、3年たった高校卒業時、どんな自分になっていると想像しますか。」と聞きます。西中生は100%、自分の将来に期待をもっている回答を力強くします。若者の自己肯定感の低さが問題になっている昨今、鴻巣西中学校は、これからも「明るい教育環境で学力向上を目指す学校」を実現していきます。